## 国語科 3年 評価計画

①知識・技能 ② 思考力・判断力・表現力 ③主体的に学習に取り組む態度

指導単元	観	単元の評価規準	具体的評価目標	評価方法
	点	学習評価表	おおむね満足 B	場面
世界はうつく	1	・表現するために必要な語句	・語句の意味を考えて、詩の解釈	・発言
しいと	2	を増やし、語彙を豊かにする。	を深めようとしている。	・音読
1 深まる学	3	・文章の種類を踏まえて、物語の	・「現在」と「回想」の部分を読	・ノート
びへ		展開のしかたを捉えている。	み分け、物語の展開のしかたの効	・ワーク
握手		・文章に表れているものの見方	果について考えることができる。	・定期テス
漢字に親しも		や考え方について考えている。	・登場人物の生き方や価値観を読	<u>۱</u>
う1		・目的や場面に応じて話題を決	み取ることができる。	・ワークシ
意見を聞き、 適切さを判断		め、伝え合う内容を検討してい	・意見と根拠、理由付けの適切さ	- F
する		3.	を判断できる。	・観察
説得力のある		・相手を説得できるように論理	・聞き手が納得できる根拠や提案	
構成を考えよ		の展開を考えて話の構成を工	の設定、適切な説明の順序などを	
う		夫している。	考えて構成できる。	
漢字に親しも   う 1		・練習問題に取り組んでいる。	・進出漢字や文法を理解してい	
文法への扉 1		・文章を読んで考えを広げたり	る。	
学びて時に之		深めたりして、人間、社会、自	・人間の生き方に関する孔子の考	
を習ふ		然などについて自分の意見を	え方を、自分の生き方や生活と関	
		持っている。	連付けて考えることができる。	
2 視野を広	1	・論理の展開の仕方などを捉え	・「具体と抽象」の関係に着目し	・発言
げて	2	ている。	て、論理の展開の仕方を捉える	・ワークシ
作られた「物   語   を超えて	3	・学習課題に沿って考えたこと	ことができる。	<b>ート</b>
問えて超えて思考のレッス		を文章にまとめようとしてい	・筆者の主張について考えたこ	・音読
ン		る、	とを文章にまとめることができ	・ワーク
論理の展開を		・具体と抽象など情報と情報と	る。	・ノート
意識して書こ		の関係について理解を深めて	・具体と抽象の程度を捉えなが	・定期テス
うった部とする		いる。	ら読んだり書いたりすることが	<b>}</b>
漢字に親しも		・論理の展開を考えて文章の構	できる。	・観察
う 2		成を工夫している。	・論理の展開や意見と根拠、その	
			結びつきを考えることができ	
			る。	
3 言葉とと	1	・俳句の構成や表現のしかたに	・語句の選び方や表現のしかた	・発言
\$ C	2	ついて評価している。	に着目して俳句を読むことがで	・音読
俳句の可能性 俳句を味わう	3	・課題に沿って鑑賞文を書いた	きる。	・観察
請りを味わり   言葉の釣り糸		り俳句を創作したりしようと	・自分の思いが伝わるように語	・ノート
を垂らす		している。	句や表現を工夫して俳句を創作	・創作
語彙を豊かに				

実用的な文章		・文章を批判的に読みながら、	できる。	・ワークシ
を読もう		文章に表れているものの見方	・筆者の「書く」ことに対する考	ート
報道文を比較		や考え方について考えている。	えかたについて、自分の経験を	・ワーク
して読もう 情報整理のレ			踏まえながら考えることができ	・定期テス
ツスン		・漢語・和語・外来語を使い分	る。	+
読書を楽しむ		けている。	・漢語・和語・外来語を使い分け	
		・情報の信頼性の確かめ方を理	ることができる。	
		解している。	・情報の信頼性や妥当性を理解	
			することができる。	
4 状況の中	1	・詩を読んで考えを広げたり深	・比喩や象徴的な表現の効果に	・発言
で	2	めたりしている。	ついて考えることができる。	・音読
挨拶	3	・文章に表れているものの見方	・「私」が考える社会の在り方に	・テスト
故郷 論理の展開を		や考え方について考えている。	ついて自分の考えを述べること	・観察
整える		・目的や意図に応じた表現にな	ができる。	・ノート
聞き上手にな		っているか確かめ、文章を整え	・論理の展開について、自分の文	・ワークシ
ろう		ている。	章の良い点や改善点を確かめる	<b>ート</b>
漢字 2		・慣用句やことわざの意味を理	ことができる。	・ワーク
		解しようとしている。	・慣用句やことわざの意味を理	
			解することができる。	
5 自らの考	1	・文章の構成や論理の展開、表	・提言の内容、論理の展開、表現	・音読
えを	2	現のしかたについて評価して	のしかたについて、評価するこ	・発言
複数の意見を	3	いる。	とができる。	・観察
読んで、考えよう		・自分の考えがわかりやすく伝	・自分の意見を支える根拠とな	・ノート
考えを効果的		わる文章になるよう工夫して	る資料を引用し、文章表現を工	・ワークシ
に伝えよう		いる。	夫することができる。	ート
漢字に親しも		・単語の類別や活用について理	・単語の類別や活用について理	・ワーク
う3 古計 の <b>三</b> 2		解している。	解できる。	・定期テス
文法への扉 2 初恋				<b>}</b>
1/1/67				
6 いにしえ	1	・歴史的背景などに注意して古	・三つの和歌集の特徴や歴史的	・朗読
の心を受け継	2	典を読むことを通して、その世	背景、和歌に対する古人の思い	・ノート
<i>⟨</i> *	3	   界に親しんでいる。	   を捉えることができる。	・ワークシ
和歌の世界	-	・和歌の表現のしかたについて	・三つの歌集に収められた和歌	<b>-</b> }
君待つと 夏草		自分の考えを述べている。	を比較し、特徴的な表現やその	・ワーク
		・作者のものの見方や感じ方に	効果について自分の考えを述べ	・定期テス
		ついて自分の意見を述べてい	ることができる。	ŀ
		る。	・現代の価値観と比較したり、作	・音読
			者の感動を理解することで、作	・観察
			者のものの見方や感じ方を理解	・発言
			できる。	

		·		
7 価値を生	1	・人間、社会、自然などについ	・文章を多角的に検討したり、例	・発言
み出す	2	て自分の意見を持っている。	証や反証を試みたりして、筆者	・音読
それでも言葉	3	・進行のしかたを工夫したり互	の考えについて理解することが	・観察
を   漢字に親しも		いの発言を生かしたりしなが	できる。	・ノート
<del>                                    </del>		   ら話し合い、合意形成に向けて	・合意形成に向けて納得できる	・ワークシ
話し合いを効		考えを広げたり深めたりして	結論を出すために、提案の意義	<b>-</b> }
果的に進めよ		いる。	や実現性を検討したり、互いの	・ワーク
う		V - O 0	発言を生かしたりして話し合う	・ 定期テス
合意形成に向				,,,
けて話し合お			ことができる。	F
う				
本は世界への				
扉				
8 未来へ向	1	・文章を読んで考えを広げたり	・自分の考え方と作品に表現さ	・音読
かって	2	深めたりして、人間、社会、自	れた考え方を比較して、「国際	・発言
温かいスープ	3	然などについて、自分の意見を	性」とは何かについて自分の考	・ノート
アラスカとの		もっている。	えをまとめることができる。	・ワークシ
出会い   律儀な桜		  ・今までの学習や経験を生かし	・今までの学習や経験を生かし	<b>-</b> }
わたしを束ね		て批評したり考えを伝え合っ	て、出会いや人生について考え、	・ワーク
ないで		たりしようとしている。	伝え合おうとしている。	・ 定期テス
三年間の歩み		/c / しょ / C し C V · 3 。		,
を振り返ろう				F
漢字に親しも				
う <b>5</b>				

※その他、学習ドリルソフトを適宜活用し、漢字テストや文法テストを実施する。